

兵庫山岳

昭和43年7月12日第三種郵便物認可

平成28年10月1日(土)
第592号 (毎月1日発行)

発行所 兵庫県山岳連盟
神戸市灘区王子町2丁目王子公園内
電話・FAX (078) 801・3267

定価1部 50円年間購読料1000円
兵庫県山岳連盟会員は会費に購読料を含む
©編集兼発行人 伊藤一雄

第四回近畿トレッキングフェスタInこうべ 兼第五十四回六甲合同登山

『深まる秋の 神戸背山を歩く』

近畿地区山岳連盟持ち回り
で開催している行事です。

新神戸駅からスタートし、
日本三大滝である布引の滝
を楽しみ、神戸ウォーターの
布引貯水池を経て、神戸の生
活文化「毎日登山」の発祥の
地である再度山を訪ね、歴史
ある滝山城跡からゴールの徳
光院へと下山します。すばら
しい秋たけなわのコースは、
きつと皆様にご満足いただけ
るものと思います。

近畿各県から参加いただ
いた皆様と共に、神戸背山の秋
をお楽しみください。

開催日：十一月十九日(土)
集 合：新神戸駅1階

九時三十分集合
八時三十分受付開始
主 催：兵庫県山岳連盟

コース：新神戸駅1階→布引
の滝→布引貯水池→市ヶ
原→蛇ヶ谷→再度公園
(昼食)大龍寺→滝山城跡
→猿のかざら橋→徳光院
境内(ゴール) 約7km、
十五時頃解散予定

参加申し込み及び申し込み先
加盟団体会員：所属団体

取り纏め
一般：ハガキに氏名、住所、
年齢、電話番号記載
神戸登山研修所
神戸市灘区
王子町二二二一
電話・FAX (078) 801-3267
FAXでも受付可

第六十二回 近畿高等学校登山大会

二年連続一位独占

台風と前線の影響に見舞わ
れた九月十七日(土)～十八
日(日)。大阪府河内長野市岩
涌山系で第六十二回近畿高等
学校登山大会が開催され、本
県からの男子五校女子二校を
含む四十二チームが参加した。

九月十七日、八時に宿を出
発し、八時半から開会式を
行った。九時半から開会式を
行った。式後、各県順からス
タート順に並び直し、流谷八
幡まで隊行動。十時三十分か
ら一分ごとに縦走スタート。
この日は砥石谷を登ってダイ
ヤモンドトレイルに合流して
岩涌山を登り、滝畑に下りて
光滝寺キャンプ場滝サイト



兵庫県選手団

のゴールをめざした。日差し
は厳しくなく比較的過ごしや
すい一日であったが、メイン
ザックであり、滝畑から幕営
地までの車道が長く、最後が
登りになっているのが選手に
はきつかったようだ。
早いチームは十四時に幕営
地に到着。記録と読図を提出
し、装備審査を受ける。遅い
パーティーは十五時半を回っ
ていた。予定を繰り上げ十六
時十五分から設営審査。
終了後に光滝寺サイトのバ
ンガローで知識審査と天気図

審査を行う。設営審査終了後
に残った二名で炊事審査ス
タート。二人のため、段取り
に苦慮したパーティーが多
かった。知識・天気図審査の
メンバーが合流してから、ス
ムーズにできるようになり、
十八時過ぎには審査を終了し
た。

九月十八日。未明に降り出
した雨は集合時間近くになっ
て激しくなり、登山道も川の
ようになっているとの報告を
受けた。

運営側と審査側が協議し、
本日の登山行動を中止し、
ゴールである滝畑ふるさと文
化財の森センターに移動して、
体育館で待機、審査集計終了
後に閉会式の予定となった。
生徒は八時前には体育館に
集合でき、臨時バスも十時半
に確保できたが、審査の確
認・集計に時間がかかり、九
時半にペーパー類返却。ク
レーム対応をして十時前から
閉会式を行い、十時半までに
解散した。

結果は、男子A隊が一位神
戸、五位三田、男子B隊は一
位長田、七位姫路工、八位相
原、女子C隊是一位神戸、二
位長田と兵庫県は三隊すべて
で優勝した。来年は兵庫県開
催で、水ノ山・鉢伏山で開催
の予定である。
(県高体連 桑田 克治)

Gourmet Promenade
グルメプロムナード
SINCE 1997 IN KOBE

お食事・各種ご宴会に

各線三宮駅すぐ神戸交通センタービル

<p>10</p> <p>日本各地から取寄せた旨い物と名酒に出会える レストラン&BAR</p>	<p>11</p> <p>備長炭の本格炭火焼 厳選されたこだわりの素材をご堪能下さい。 炭火焼 博多水炊き</p>	<p>12</p> <p>大正六年創業の 名門料亭の味わいを 日本料理</p>	<p>13</p> <p>鉄板焼きパフォーマンスを楽しみながら 神戸牛を堪能してください!! ステーキハウス</p>
<p>14</p> <p>六甲山系を望みながら 畑の見えるレストランで地元食材を堪能!! 地産地食ダイニング</p>	<p>15</p> <p>ていねいに抽出した珈琲が 自慢のカフェテラス 喫茶</p>		

<p>TEL.078-331-1233</p>	<p>TEL.078-325-1235</p>	<p>TEL.078-333-0678</p>	<p>TEL.078-392-2989</p>
<p>TEL.078-332-2831</p>	<p>TEL.078-391-4057</p>		

登山計画書は必ず提出しよう!

エル・キャピタン「ノーズ」登攀記 丹波山岳会 村上 和広

③

登攀3日目(5月3日) 秋にはハエがブンブン飛んで今日もゆっくり起床し、6時過ぎに、リード後藤で登攀を開始。

「グローリング・スポット(25P)」5・12dで、マイクロカムが2本抜け、ロープテションが入りながらグラウンドフォール!。

右手薬指を突き指したそうだが、他はダメージなく一安心。良かった。

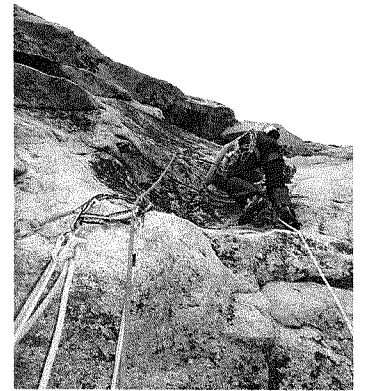
その後は、マイクロ・ナッツをきちんと決めて抜ける。場所によってはカムよりナッツの方が有効なときもある。

もう1ピッチ登って到着した「キャンブVI(26P終了点)」で、一息入れる。ここは最後のビバーク・ポイントでもあるが、和式(中国式?)。○所のようなクラックがある。



グローイングスポット24P目

小さいカムを何本か決めながらゆっくりと高度を稼ぐ。ハンドサイズになっても、疲れていてフリーで登ることが出来ず、カムを決めては休み休みと時間が掛ってしまい、ブレイク点に着いた時には昼過ぎで、何とこのピッチに3時間以上かかっていた。さあ残り4ピッチだ。この辺りまで来ると、ホールバッグの重量も半分くらい



もうすぐ頂上

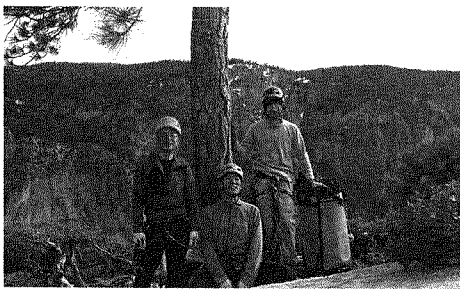
になり、体全体で引き揚げなくても足の力だけで上がって行く。リードを田村、後藤と替わり最後のボルトラダーのセクションへ。急に傾斜が緩くなり、両足で歩けるくらいの傾斜になったかと思うと、有名な松の木で後藤がブレイクしているのが見えた。

お、頂上だ!この松の木は、平山ユージ氏などスピード・アッセントの映像でも出てくるゴールになっている木だ。17時30分、「おーやった!明るいうちに頂上へ着けた!」3人が揃うと、握手した。

松の木で記念写真を撮り、今日中に下山すると決め、余った3個のガロン(38L)・ボトルの水を「勿体ないね〜!」と言いつつ流した。初めは対岸に高く見えていたミドル・カシードラルの岩峰を眼下に見下ろすと、じんわりと完登の喜びが込み上げてくるが、ゆっくりとはして

いられない。荷物を再パッキングし、エルキャピタンの「イースト・バットレス」の下降路に向けて下っていく。もちろん、皆初めてなので半信半疑で下っていくが、所々にケルンが積んであるので大丈夫そう。歩いて下るのが難しくなってきた頃に丁度、地元らしきパーティーが下ってきた。「フリーライダー」を登ってきたというアメリカ人で、懸垂ポイントを教えて貰い、4回のフィックスロープの懸垂をして「イースト・バットレス」のアプローチのルンゼに到着した。ここで、暗くなったので、ヘッドライトを点けるが、ホールバッグを担いで一番重い荷物を持って来ていた後藤が遅れ始める。「誰か代わってくれ!」と心中思っていた。ルンゼと林道を1時間ほど歩くとやっと車道に出た。疲れた体を引きずるように更に30分歩いて、やっと車に到着した。21時過ぎだった。この後、シャワーを浴びに

行ったが、お店は閉まっていた、新鮮な肉やサラダにもありつけず、余った行動食を食べ、そのままキャンブ4のシュラフに潜り込んだ。私たちは完登できたのだ。今回の完登の要因は、ルートが混雑していなかったこと、休暇が長く取れたこと(同行の二人は13日間、私は10日間)、3カ月前から3人でコツコツと荷揚げやトラバース、荷降ろしなどビッグ・ウォールの中で起こりそうなことを想定して、3人で話し合い考えながら、自分たちに合ったシステムを構築出来たこと。そして後藤の力に依るところも大きかった。全31ピッチ中、20ピッチちかくを彼がリードしてくれ、特に5・10代のピッチはフリー主体でリードしてくれたので、時間短縮できた。(4面5段に続く)



頂上の松の木で記念写真

便利で大変リーズナブルな多目的貸し会場

阪急王子公園駅から わずか徒歩3分



緑の中のミーティングルーム

王子サロン (神戸登山研修所)

神戸市灘区王子町2-2-1 王子公園内(競技場北側)
TEL・FAX(078)-801-3267 http://www.hma.jp/

次に登る日を、もっと好い日に。

好日山荘 & GRAVITY RESEARCH CLIMBING GYM

好日山荘 神戸本店
☎:078-265-2045

好日山荘 姫路駅前店
☎:079-280-5520

好日山荘 明石大久保店
☎:078-938-2010

GRAVITY RESEARCH KOBE
☎:078-855-8043

GRAVITY RESEARCH HIMEJI
☎:079-280-7520

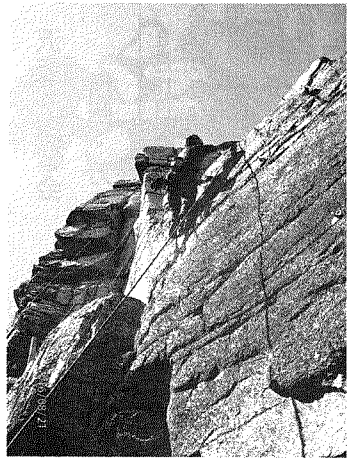
GRAVITY RESEARCH AKASHI
☎:078-938-2010

クライミング講習会に 参加して

いつかはチャレンジしてみ
たかったロッククライミング
を学ぶ機会が無いかと探して
いたところ、今回縁あって兵
庫岳連主催のクライミング講
習会に参加いたしました。

平日をメインとした計五回
の講習への参加は仕事を持つ
身としてなかなか大変でした
が、クライミングの基本的知
識を学ぶ座学から始まり、人
工壁を使って実践的なクライ
ミング技術を身に着け、最後
は実際の岩稜を体験するもの
で、手厚いカリキュラムと講
師陣の皆様の熱心かつ判りや
すいご指導のお陰で、クライ
ミングにおいて重要なポイン
トである安全確保を軸とした
数々の技術を、初心者なりに
会得することが出来ました。

講習は先ずロープの結び方、
カラビナの掛け方、ビレイデ



バイスのセット方法などの基
本的な動作を学ぶことから始
まり、特に八の字結びとパッ
クアップの作り方を徹底的に
教え込まれました。

また座学では何故ビレイを
しっかり取る必要があるのか
について物理的な観点から説
明して頂けて大変理解し易
かったように思います。

人工壁では先ずトッパー
プでのクライミング実践訓練
から始まり、目の前に響え立
つ人工壁の迫力に若干戸惑い
ながらも、クライミングとビ
レイを講師、受講生が交替で
練習しつつ、最終的にはリ
ドクライミングの基本まで練
習しました。

当方ビレイヤなど全く初め
での経験でもあり、なかなか
しっかりとしたビレイを取る
ことが出来ず、相当苦勞を掛
けてしまったことは非常に申
し訳なく思っております。

クライミングでもなかなか
次のホールドを上手く掴む事
が出来ず、また
基本的なムーブ
についても未熟
なため直ぐに腕
がパンパンとな
り、結局最後ま
でゴールにたど
り着けなかった
のは悔しい限り
です。

講習の総仕上げである保塁
岩での実践練習では、普段の
登山で岩稜にしばしば出くわ
しているからか、人工壁の時
とは違って岩の感覚が割りと
直ぐに馴染め、思った以上に
スムーズに登ることが出来た
ことは我ながら驚くところで
した。但し、スムーズに登れ
たのも一重に講師陣の指導の
賜物、全く初めてのゲレンデ
で岩肌の様々な形や指の掛か
り具合を瞬時に判断し、しっ
かりとホールドし、常に先を
読みながら効率良くかつ安全
に登ることの難しさを身に
以って感じた日となりました。

しかしながら、保塁岩をど
うにか登り終えたときの達成
感ほ別格で、ゴール地点から
見下ろす神戸の町並みは普段
の山歩きで見ると違った
印象がありました。この感覚
もクライミングの持つ魅力の
一つなのでしょうね。

今後も機会を捉えながらク
ライミングを続けてゆき、ま
た今回得た技術や知識をアル
プスなどの岩稜登山や山ス
キーにも生かしたいと考えて
おります。

最後に講師陣の皆様、及び
一緒に参加された受講生の皆
様には色々とお世話になりま
したことを、この場をお借り
して篤く御礼申し上げます。
(受講生 住友裕司)

HMA便り

摩耶山地蔵谷で

お手軽な沢遊び

六甲山の地蔵谷ってご存知
ですか？摩耶山の天狗道と向
き合う黒岩尾根との間に伸び
る谷なのです。HMA八月例
会はこの谷で初歩的な沢登り
技術を勉強するとしていまし
た。

八月二〇日(土) 九:三〇
新神戸駅に集合です。メン
バー十二名が集まりました。
そしてサポータースタッフは研
修所からは私、金谷、大西の
三名、クラブ雲峰から市川、
吉岡の二名が参加して総勢十
七名と大人数となりました。

布引から暑さに耐え一時間少
して地蔵谷出合まで上がって
きました。そこには、「な、な、
なんと水が無いぞ！」普段は
清流が流れている出合付近が
完全に干上がっております。

今夏の猛暑続きと降水量の
少なさも懸念していた通り
の状況でした。地蔵谷は短
い谷なので流入水もその分、
少ないのでしょうか。地蔵谷は

六甲山でも水が綺麗な貴重な
谷です。清流に沿ってハイキ
ング道が整備されており人気
のルートです。でもこの谷を
沢登りの対象とすることはあ
まり有りませんでした。今日
のこの水量では沢登りになら
ないと、諦め半分で谷に入り
ました。しかし有り難い事に
下流の滝には淵が残っていて
水に浸かる事が出来ました。
これで僅かながらも猛暑を忘
れ至福の時を過ごせたのです。
「良かったなあ、少しは沢登り
らしくなりましたよ」
本日のメインは高さ二〇m
程の地蔵谷大滝です。この滝
を登下りして本格的な沢登り
が必要となる技術の修得を目
指します。

最初は透明だった滝壺の水
もこれだけの大人数が飛び込
んだりしますので掻き回され
て真っ黒に濁ってしまいました。
「もう、こんな濁った水
には入りたくない！」着替え
は必携だと伝えていて正解で
した。入渓前に谷の出合に
ツェルトを張っておきました。
女性陣の着替え用なのです。
帰ってからの洗濯も大変でし
た。汚れと泥臭さが中々に抜
けませんでした。「やはり沢
登りは清流の大峰、大台、比
良、鈴鹿ですなあ！」

(HMA代表 黒田信男)

貴重な自然を守るために

私たちが胸ときめかせる喜びと感動を受けた
大切な自然を末永く伝えるためと爽快感と
充実感のある山登りを神戸ザックは応援します



OUTDOOR SPORTS SHOP
IMOCK
KOBE

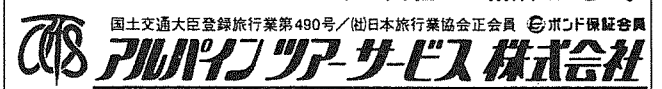
オリジナルザック & 登山用品専門店

神戸ザック TEL (078) 621-5851
FAX (078) 621-3528
http://www.h2.dion.ne.jp/~kobezac

神戸市長田区日吉町3丁目1番30号
〒653-0039 カナゾビル2F

世界の山旅・辺境の旅 カタログご請求ください

お一人参加でも安心のパッケージツアーから、お仲間でご企画するオーダーメイドツアーまで。お気軽にご相談ください。



国土交通大臣登録旅行業第490号 / (株)日本旅行業協会正会員 日本コンド保証会員
〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海事ビル4階 ☎03-3503-1911
大阪 ☎06-6444-3033 名古屋 ☎052-581-3211 福岡 ☎092-715-1557
e-mail: info@alpine-tour.com http://www.alpine-tour.com

美しい自然、大切な自然を子孫に伝えよう

沢登り講習会 播州・万ヶ谷

9月10日(土) 沢登り講習会(万ヶ谷)に参加しました。

集合は7時に登山研修所でしたが、私は自宅から直接行く方が近いので、9時にR29号線道の駅「はが」にて合流。

道路から見えたソーマン滝の様子から、いつもの3倍くらい水量とのこと。ゲートポールグラウンド横のスペースに車を止め、装備を整えた後、ユマールリングの説明を受けて、講師3名、受講生8名で出発です。

最初のソーマン滝は左側にフイックスロープを張っていただき、早速ユマールリングで通過。大きな岩や小滝をしぼ



みんなで歩こう 緑の山を！ 神戸市民山の会のお知らせ

第820回例会

秋丘陵の縦走路を歩く

▽開催日 10月16日(日)

▽集合 神戸電鉄 大池駅

午前9時

▽コース 神鉄大池駅→天

下辻→展望台→鉄塔→

手池→神鉄谷上駅(約7km 一般向け)

▽担当 旗振山の山内正

明、中山 修、萬力谷郁

夫、平井征光、坂本龍三、

近澤康弘の皆さん

たところは大滝(3段50m)が現れました。一段目の左側をトップロープで一人ずつ登ります。水は冷たく、気持ちいいのですが、8名なのでそれなりに時間がかかり、全員が登るのを待っている間は寒くて震えました。

大滝を越えると、ここからは緩やかな小滝、斜滝、末広滝と息もつかせぬぐらい続き、後半の100mもある連瀑帯に入っていきます。水量が多く、流れも速い。滑らないように、

ホールドとスタンスをしつかり選んで直登するのは楽しかったです。堆積した大岩の隙間から幾筋もの水が流れ出す滝は見応えがありました。お助けロープを所要所で出していただきながら、最後の

大滝(20m)に到着。轟音と水しぶき、凄い迫力があります。ここも左側にフイックス

ネパール・トレッキング
SANSUI社の招待再募集
兵庫山岳、第590号(8月号)で既報の通りですがネ

8名もの受講生を安全に御指導・サポートいただいた講師の皆様、ありがとうございます。(受講生 米田紫保)

この後は、緩やかな流れの中を遡上。途中で谷筋から分かれて右岸の急斜面を登り、仕事道を下って、日ノ原集落に降ります。R29号線を歩いて駐車場に戻り、講習は無事に終了しました。この綺麗な谷には是非また行きたいと思

ます。

ロープを張っていただき、ユマールリングで滝の落ち口へ。全員無事に大滝を越えたところで、遅めのお昼休憩となりました。

パールトレッキングでお世話になった現地旅行社サンスイがカトマンズにホテルを開設されることになりました。

しかし、内装の備品等の納期が間に合わず、誠に申し訳ありませんがご招待が1か月延期になりましたことをお知らせします。

最終的に開設日が決定次第

現在参加の皆様(26名)に連絡すると共に新規参加頂く皆様は山岳連盟ホームページに記載していただきますので参照願

い、山岳連盟にお申し込み下さい。

日程・11月(7日間)

費用・関西国際空港→カトマンズ航空運賃10万円及びビザ代25\$(有料)

ホテル宿泊・食事代及びカトマンズ市内観光(無料)

但し、カトマンズ市外への行動は有料

参加募集・40名

申込期限・10月15日(日)

(海外委員会 西野加郎)

10月の自然観察山歩

ふるさと兵庫100山

「三濃山の自然を訪ねる」

羅漢の里から上郡町の

最高峰を訪ねます。

開催日・10月23日(日)

集合・羅漢の里駐車場10時

参加者は事前に神戸登山研

修所へお申し込み下さい。

10月の行事予定

▽2日 藤木祭 高座の滝

藤木祭記念ハイキング

▽5日 常任理事会

▽7・10日 いわて国体

▽10日 神戸市スポーツ

フェスティバル

神戸登山研修所

▽16日 はりま支部

山友の集い

▽23日 自然観察山歩

三濃山

▽26日 運営委員会

▽30日 セルフレスキュー

講習会 神戸登山研修所

(2面より続き)

「ノーズ」の完登率は半分以上くらいだそう、実際、時間が足りずに敗退した知人も何人か知っていた。

もし、土日をプラスした1週間の休暇(全9日間)だと、飛行機を入れたヨセミテまでの移動に行き帰りで最低3日間、現地での買い出しなどの準備や調整に1日、フイックス

ワークおよび荷揚げに1日かかるので、クライミングに使えるのは3泊4日となり、本

当にギリギリとなる。

精神的なプレッシャーも出てくるし、天気が悪かったり、

ルートが混雑しているとかかなり

厳しい状況になるだろう。

ビッグ・ウォールという

SINCE 1975
mont-bell
アウトドア用品は、お近くの「モンベルストア」へ。
 神戸北店 078-983-3337 六甲店 078-811-9555
 神戸三宮店 078-327-5455 ALBi大阪駅前 06-6346-7544
 マリンピア神戸店 078-708-1170
 www.montbell.jp

敷居が高いように感じられませんが、日程的に余裕を持ち、ロープワークや荷揚げなど事前の練習をきちんとしていけば、恐れるに足らずです。ただ、最後にものを言うのは「体力とパワー」ですが。ヨセミテのビッグ・ウォールは、パタゴニアアソシエーツの入り口であり、今やワンデ

(完)